

12歳の  
ための

# 小説すらすら講座

第一回 小説はカンタン!?

「小学五年生」で  
大活躍中の  
文身天國  
のメンバーだ!



ケシゴムくん

えんぴつくん(HB)



生徒  
小説を書きたい! と集まっ  
たアツ〜イ(?)生徒たち。



万年筆先生  
この講座の先生。やさしく  
きびしく指導してくれる。

本講座の  
登場人物

小説がす〜らすら書けるように  
なる(!?)この講座を参考にして「12  
歳の文学賞」に作品を応募しよう!

いきなりだがキミた  
ちは、小説を書くこと  
はむずかしいと思っ  
てないかい? 実はそん  
なことはないんだよ。

どう思うかって  
ことは...

こんなのほ  
うかな?

えー!  
本当ですか!?

2丁目のバス停で降りて、1年ぶりに公園  
に行きました。遊具が全部なくなっていま  
した。がらんとした感じがしまし  
た。前とはすっかり変わっていました。

2丁目のバス停で降りて、1年ぶりに公園  
に行きました。遊具が全部なくなっていま  
した。

2丁目のバス停で降りて、1年ぶりに公園  
に行きました。

僕にも  
書け  
ますか!?

うん。では、  
さっさと書いて  
みよう。

ねえねえ、  
どこが消すとこ  
ないの?

うん、いいね。で  
は、遊具がなくな  
った公園をどう思  
うかわしく書  
いてみよう。

あっ、  
いきなり  
まごい  
展開!

この文章をふくらま  
せていくとしようか。  
例えば、1年ぶりの公  
園はどんなふうか、想  
像して書いてみよう。

